

政務活動費調査研究報告書

提出日 2025・10・3

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	布瀬 恵
参加者	3人・布瀬 恵		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概 要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 9月30日(火) 午前10時～12時	会場：桜丘学習センター 202 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目 的 (どのような 課題を解決 するためか など)	・ 9月議会の報告 ・ 市民からの要望等の聞き取り	
内 容	・ 9月議会の報告 ・ 市民からの意見聴取	
成 果 等 (市に活かせること等)	・ 議会の報告 ・ 高齢者の地域の居場所について 現在、市が旗の配布などの補助をしている「茶0」生まれた経緯と、どのように進められていったのかを、その運営に関わった市民の方から聴くことが出来た その中で、市民が主体となった地域の居場所づくりについて、どのようにすれば、新たな団体が生まれるのか、関わる市民が増えていくのか、等を話し合うことが出来た。	
事業費	1600 円 (会場費 1600円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日令和7年10月17日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	吉田奈々
参加者	吉田奈々		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 10月1日(水) 午前10時~12時	会場：つきみ野学習センター303 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	9月議会の報告を行い、一般質問の内容と行政側の答弁を報告し、議会運営に対する理解を深めてもらうとともに生活と政治を身近に感じてもらう。 所属する委員会等の活動を報告し、議員活動の理解を深める。 市民の抱えている生活の課題などを伺うことにより、共に課題解決に向けて協議していく。また解決に向けた取組みを行っていくきっかけとする。	
内 容	市民：3名 議員：1名 9月議会報告 ・市民の外出の足の確保 ・子どもの目の健康	
成果等 (市に活かせること等)	9月議会の報告を行い広く市政情報を伝えることができた。 引地台公園やスポーツセンターの駐車場の料金改定や放課後児童クラブの料金改定が話題になり、市の財政が厳しく受益者負担が増えていることに理解をしていただいた。 地域の課題や情報交換ができて有意義な時間となった。	
事業費	1,200 円 会場費	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日令和7年10月17日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	吉田奈々
参加者	吉田奈々		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 10月8日(水) 午前10時～12時	会場：市民交流拠点ポラリス Room 2 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	9月議会の報告を行い、一般質問の内容と行政側の答弁を報告し、議会運営の理解を深めるとともに政治を身近に感じてもらう。 所属する委員会等の活動を報告し、議員活動の理解を深める。 地域からの課題を参加者と共有し、行政への提案や一般質問につなげ生活者視点での暮らしやすさを実現していく。	
内 容	市民：2名 議員：1名 9月議会報告 ・市民の外出の足の確保 ・子どもの目の健康	
成果等 (市に活かせること等)	9月議会報告を行い広く市政情報を伝えることができた。 引地台公園やスポーツセンターの駐車場の料金改定や放課後児童クラブの料金改定が話題になり、市の財政が厳しく受益者負担が増えてしまっていることに理解をしていただいた。 今、2歳から入れる幼稚園が増えている。山王幼稚園も年々少を始めると聞いた。子どもサークルで使える場所を探している。山王原自治会館が使えるか自治会長さんに相談してみる。イベント会場を探していたお友達は高座渋谷の方で見つけることができた。	
事業費	3,200 円 会場費	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

提出日 2025.11. 5

事業名	第30回清溪セミナー		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	布瀬 恵
参加者	1人		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概 要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等	
	① 10月22日(水) 13時～18時	日本青年館ホテル8階 カンファレンスルーム 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 主催：清溪セミナー実行委員会	
	② 10月23日(木) 9時～15時30分	日本青年館ホテル8階 カンファレンスルーム 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 主催：清溪セミナー実行委員会	
目的 (どのような 課題を解決 するためか など)	住民主体の地方自治を進めるために、様々な分野の専門の講師から学ぶ		
内 容	10月22日 13:00～ オリエンテーション 13:30～14:50 講義Ⅰ 現場から見た介護保険 15:05～16:25 講義Ⅱ 社会の変化とこれからの学校教育 ～主体性と当事者性～ 16:40～18:00 講義Ⅲ 子育て支援策の一步先へ ～まち全体での子育て～ 10月23日 9:00～10:20 講義Ⅳ 人口減少社会を生き抜くために 10:35～11:55 講義Ⅴ 自治体の防災マネジメントと議会・議員の役割 13:30～15:30 講義Ⅵ 被ばく戦後80年核兵器のない世界へ 日本が果たす役割とは		

成 果 等 〔市に活かせること等〕	講義Ⅰ 講師の題名通り、介護保険の崩壊が始まっていること、介護保険をはじめ地域の中で老いるということの困難さ、担い手不足等の課題について事例を交えながら学ぶことが出来た。訪問介護事業所が無くなってきている現実、介護保険料はどんどん上がっているのに対し、受けられるサービスは減少している現状をどのように解決していくのか、一自治体の問題ではないことを再確認した。 講義Ⅱ 日本社会の問題は、学校教育問題そのものであることが、再確認できた。不登校という概念自体が日本・韓国・台湾というごく限られた国で起こっている現実。自死を選ぶ子ども達が年々増加している中、日本の教育の何が課題なのか、それをどうすればいいのか、学校教育現場での実践者だからこその言葉はとても重く、刺激的であった。子どもたちから主体性を奪っている日本の教育をどのような学びに変えていくのかは、一人の教育者では限界がある事、自治体の教育に関わる方全ての意識を変革していかないと難しい。他自治体の事例を基に提案に繋げたい。 講義Ⅲ 岡山県奈義町の少子化対策は、奈義町で暮らすすべての人、そしてこれから生まれてくる子どもたちが 10 年後も、20 年後もその先も幸せな笑顔で暮らしていけるようにという思いから、まちを上げての少子化対策を行っている。高齢者に対し、少子化対策は最大の高齢者福祉であるということを丁寧に説明した結果であるとも考える。様々な先進事例を参考にしたい。 講義Ⅳ 人口減少は待ったなしの状況の中、自治体としてもどのように生き残っていくのか、これまでの政策と、今後必要なことについて学ぶことが出来た。少子化対策と地域経済の活性化であり、若者や女性に選ばれる地域をどのように作っていくのがカギであること。これにつきると感じた。東京一極集中の体制は国を挙げて対策していかななくてはならないと強く感じた。 講義Ⅴ 災害時「も」尊厳が守られる社会の実現のためには何が必要なのか。自分の自治体は大丈夫なのか、という振り返りと確認、課題は何かを明確にするための様々な知識を学ぶことが出来た。現状の避難計画では、「尊厳」が守れるとは言い難い。 講義Ⅵ 広島の平和教育事業の今までの取り組みと今後に向けた想いを市長自ら語っていただいた。戦後 80 年、戦争・被ばく経験者の方たちが少なくなる中、唯一の被爆国として何をしていくべきなのか、国に対しても何を求めていくべきなのか、学ぶことが出来た。
事 業 費	— 31,560 円 学習会参加費 29,122 円 電車代 2428 円（小田急線 南林間⇄代々木上原 東京メトロ千代田線 表参道 東京メトロ銀座線 外苑前）× 2 日分

提出日 2025.12.5

概 要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 11月15日(土) 13時～17時	東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」 茨城県那珂郡東海村舟石川駅東3-1-1 主催：わかもののまち
	② 11月16日(日) 10時 ～14時30分	東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」 茨城県那珂郡東海村舟石川駅東3-1-1 主催：わかもののまち
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	わかもののまちサミットに参加し、子ども・若者の参画についての先進的な自治体の取り組みを学ぶとともに、子ども・若者がまちづくりの主役になるためにはどのような体制が必要なのかについて学ぶ	
内 容	11月15日(土) 13時～ 東海村フィールドワーク 11月16日(日) 10時～ オープニング ウェルカムスピーチ 10:15～12:15 全体会「若者もまちづくりの主役だ！みんな で“わかもののまち”をどう育てる？」 13:30～15:30 テーマ別分科会 第2分科会 「子ども・若者政策をどう評価するのか」	
成果等 (市に活かせること等)	11月15日 東海村を村職員の案内で、村立博物館で村の成り立ちから現在までの歴史を学び、古墳群のある公園、原発を見渡せる砂丘の公園等を見て回りながら説明を受けた。人口は現在も増え続けており、茨城県内で子育て世代に選ばれる自治体となっている状況を知ることが出来た。 11月16日 全体会では、それぞれの団体で活躍されている方から、若者との関わりから若者の参画を進めている事例を紹介していただいた。自治体職員としてやNPOの団体のメンバーとして、子ども、若者がまちづくりに参加し意見を言うだけではなく、子ども・若者自らがまちづくりに参加していく仕組みを共に作っている方法を聞くことが出来た。	

	また、東海村の若者から、わかもの会議が1年間どのような活動をしているのか、更には自分たちの意見をどのように村に反映しているのかを聞くことが出来た。県立の高校と村が協定を結ぶことにより、高校2年生全員が村の魅力を発信する授業を職員と一緒にに行っていることは素晴らしいと感じた。わが町を知ることから、生活している自分の地域に関心を持つ、愛着を持つ、参加していこうと思うことが大切であると実感した。 分科会では、参画している状況をどう評価していくのか、評価する必要があるのか、子ども会議や子どもが参画したまちづくりを行っている自治体の職員からの事例を聞きながら、何人かとディスカッションしながらお互いの考えを出し合い、深めていった。結局様々な投げかけによりディスカッションを行っていったが全体として結論を出すことはできなかった。評価とは難しい議題でもある。
事業費	<u>19,456</u> 円 学習会参加費 8,500 円 電車代 10,956 円 (小田急線 南林間⇄新宿 JR線 新宿⇄東海駅) ×2 日分

政務活動費調査研究報告書

提出日 2025.12.5

事業名	全国地方議員社会保障研修会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	布瀬 恵
参加者	1人		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日時	訪問先、会場、主催者等
	① 11月17日(月) 10時～17時	オンライン 主催：大阪社会保障推進協議会
	② 11月18日(火) 10時～17時	オンライン 主催：大阪社会保障推進協議会
	③ 11月19日(水) 10時～17時	オンライン 主催：大阪社会保障協議会
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	様々な分野の専門家からいのち・暮らしを守り、誰一人取り残さない社会を作るための学びを深める	
内容	11月17日(月) 10時～ 街づくりの視点から若者支援を考える 11月17日(月) 14時～ スクールハラスメントの実態と対策を考える 11月18日(火) 10時～ いのち・暮らしを守るための自治体での社会福祉政策でできることはなにか 11月18日(火) 14時～ 介護保険25年を検証し今自治体がすべきことを考える 11月19日(水) 10時～ 自治体財政の基本と地方自治の新しい地平を考える 11月19日(水) 14時～ 家のないひとの実態とハウジングファーストの実現のための自治体政策について	

成果等 〔市に活かせること等〕	11月17日 ① 公営住宅の空きが出ている自治体が、若者向けのシェアハウスとして活用することにより、若者の居住支援を行い、更には対話し関係づくりを支援することにもつながっている。若者に向けたコミュニティ支援の実態を学ぶことが出来た。 11月17日 ② 教員による性暴力の実態と、その後の対応について、衝撃を受けながら聞いた。性暴力を行う教員の多くは、評判の良い教員も多く、被害差であることもや保護者が二次被害を受け、更には被害を訴えても十分なサポートを受けることが出来ていない実態にも驚かされた。子ども達を救うためには、包括的性教育が重要であると改めて思った。 11月18日 ① 社会福祉の原点：福祉は権利であるということ。自治体としての責任と現代社会の課題について、改めて学ぶことが出来た。ケアラー支援条例の策定状況や、地方銀としてできる具体的行動内容を学ぶことが出来た。 11月18日 ② 介護保険が出来て25年。現在の危機的状況をデーターを基にまず詳しく学んだ。その上で、地方自治体が何に取り組んでいかないといけないのかを具体的に学ぶことが出来た。とにかく担い手の確保、その為の育成は急務である。 11月19日 ① 地方自治体の財政を学ぶことが出来た。どう考えていくのか、現代の課題に対し、公共政策には何が必要なのかを学ぶことが出来た。各自治体の困窮者支援、生活保護に対する支援はとても参考になった。 11月19日 ② 生活が困窮している方にとって、居住支援がいかに重要であるかを学ぶことが出来た。ハウジングファーストの考えを広げていく必要があると強く思う。
事業費	40100 円 学習会参加費 40000 円、振込手数料 100 円

政務活動費調査研究報告書

提出日 2025・12・19

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	布瀬 恵
参加者	3人・布瀬 恵		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他（ ）		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 12月18日（木） 午前10時～12時	会場：ワーカーズコレクティブわにわに 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目的 （どのような課題を解決するためかなど）	・ 12月議会の報告 ・ 市民からの要望等の聞き取り	
内 容	・ 12月議会の報告 ・ 市民からの意見聴取	
成果等 （市に活かせること等）	・ 大和市の財政状況について ・ 市立病院の経営状況と今後について ・ 市民負担が増えていくことについて ・ 子ども誰でも通園制度の導入について ・ 学校の不登校の現状と対策について	
事業費	1500 円 （会場費 1500円）	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

令和7年度政務活動費調査研究報告書

提出日令和8年1月7日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	布瀬 恵 (070-5572-5188)
参加者	布瀬 恵 他2名		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時 ①12月23日(火) 午前10時00分～ 午前12時00分 ② ③	訪問先、会場、主催者等 会場：渋谷学習センター 308 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
目的 どのような課題を解決するためかなど	1. 12月議会の報告 2. 市民から意見を聴く	
内 容	12月議会で議決された内容 大和市の財政状況 子育て支援について 地域の活動について	
成果等 市に活かせること等	・子ども誰でも通園制度について、どのようなものなのか、今回提案された条例について等伝え、意見を頂いた。 ・財政状況について、現在市が行っている状況について、また、どのように財政状況が厳しいのかを伝えた。 ・困難を抱えた子育て世代の悩みや課題についてどのように向き合っていけばいいのか、地域の中の支え合いの仕組みについて等意見交換を行った。 ・コミセンの管理について、今後どのようなことが検討されているのか、地域の中で担い手不足などの課題に対してどのような働きかけが必要なのかを意見交換した。	
事業費	1800 円 (会場費：1800 円)	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 2026・01・09

事業名	新人議員基礎研修		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	吉田奈々
参加者	吉田奈々		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 12月27日	京都 京都 JA ビル 地方議会研究会
	② 12月28日	京都 京都 JA ビル 地方議会研究会
	③	

目的 どのような 課題を解決 するためか など	「初動」で決まる信頼と影響力 予算・決算を読み解く 政策立案と提案力をつける 「何をしているかわからない議員にならないために」 議会の制度やルールを学ぶ
-------------------------------------	---

内 容	1. 議員の仕事とは「住民」の「福祉の増進」である。そもそも何のために選挙に出たのか？一般質問で何がしたいのか、何のための質問なのか 2. ムダ削減と政策提案、財政質問のコツ、数字で語る議員になるためにはどうしたらいいか 3. 「議員力」を上げる！政策立案と提案力 一般質問を「提案型」に変えて評価を上げる、戦略的アプローチの仕方 4. 議会のルールや制度が話がわからないのに議員活動なんてできない、制度がわかれば主張が論理的になる
-----	---

成果等 市に活かせること等	住民の福祉の増進のために、自分に何ができるのかを考え行動していこうと改めて決意する年末の研修となりました。何のために議員になったのか、一般質問をするに前と後で何が変わったのか、質問してとりたい成果は何かを考える。 市にとって何が課題で何があったら課題解決できるのか提案型の質問にする。 また数字で語る議員になるため、説得力のある発言ができるよう財政をもっと勉強する必要を感じました。この研修を活かして議会改革や政策提案につなげていきたい。
------------------	--

事業費 63,332 円 (研修費, 振込手数料, 交通費 宿泊費)

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日 2026・1・20

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	布瀬 恵
参加者	1人・布瀬 恵		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 1月16日 (金) 午前10時～12時	会場：生涯学習センター 606 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	・ 12月議会の報告 ・ 市民からの要望等の聞き取り	
内 容	・ 12月議会の報告 ・ 市民からの意見聴取	
成果等 (市に活かせること等)	・ 大和市の財政状況について ・ タウンミーティングの実施についての紹介をした。 ・ 高齢者の居場所について、地域の中にある事の必要性を事例を交えて話すことが出来た。	
事業費	1,600 円	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日令和8年1月26日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	吉田奈々
参加者	吉田奈々		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時 ① 1月9日 午前10時～12時 ② ③	訪問先、会場、主催者等 会場：大和市生涯学習センター605 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市民会議
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	12月議会の報告を行い、一般質問の内容と行政側の答弁を報告し、議会運営の理解を深めるとともに政治を身近に感じてもらう。 所属する委員会等の活動を報告し、議員活動の理解を深める。 地域からの課題を参加者と共有し、行政への提案や一般質問につなげ生活者視点での暮らしやすさを実現していく。	
内容	市民：3名 議員：1 大和市12月議会の一般質問 ・食品ロス削減について	
成果等 (市に活かせること等)	12月議会の報告を行い広く市政情報を伝えることができた。 柳橋ふれあいプラザの利用料金改定や特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例についてなど説明をした。 大和市の課題について情報交換できた。	
事業費	_____ 1,600円 会場費	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日令和8年1月26日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	吉田奈々
参加者	吉田奈々		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 1月15日 13時～15時	会場：つきみ野学習センター 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市民会議
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	12月議会の報告を行い、一般質問の内容と行政側の答弁を報告し、議会運営の理解を深めるとともに政治を身近に感じてもらう。 所属する委員会等の活動を報告し、議員活動の理解を深める。 地域からの課題を参加者と共有し、行政への提案や一般質問につなげ生活者視点での暮らしやすさを実現していく。	
内 容	市民：3名 議員：1 大和市12月議会の一般質問 ・食品ロス削減について	
成果等 (市に活かせること等)	12月議会の報告を行い広く市政情報を伝えることができた。 柳橋ふれあいプラザの利用料金改定や特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例についてなど説明をした。 近所の農園やアリーナの裏の敷地に農薬が撒かれているので困っている。 街路樹がばっさり切られている。強剪定しないで欲しいというご意見をいただいた。	
事業費	1,200円 会場費	

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日令和 8 年 1 月 26 日

事業名	市政報告会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	吉田奈々
参加者	吉田奈々		
区分	☐ ①研修 ☐ ②視察 ☒ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 1 月 16 日 (金) 午前 10 時～12 時	会場：北部文化スポーツ子育てセンター Room 6 主催：神奈川ネットワーク運動 大和市議団
	②	
	③	
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	1 2 月議会の報告を行い、一般質問の内容と行政側の答弁を報告し、議会運営の理解を深めるとともに政治を身近に感じてもらう。 所属する委員会等の活動を報告し、議員活動の理解を深める。 地域からの課題を参加者と共有し、行政への提案や一般質問につなげ生活者視点での暮らしやすさを実現していく。	
内 容	市民：3 名 議員：1 大和市 12 月議会の一般質問 ・食品ロス削減について	
成果等 (市に活かせること等)	12 月議会の報告を行い広く市政情報を伝えることができた。 柳橋ふれあいプラザの利用料金改定や特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例についてなど説明をした。 街路樹脇から出てくる人が見えにくいので街路樹の下の草をこまめに手入れして欲しいという要望があった。そのほかご近所のトラブルの相談も受けた。	
事業費	3, 0 0 0 円 会場費	

※訪問先が 2 カ所以上の場合には行程表を添付すること

政務活動費調査研究報告書

提出日令和 8 年 2 月 10 日

事業名	議員力アップ研修会		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	吉田奈々
参加者	吉田奈々		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	① 2月13日 午前10時～16時	会場：リファレンス西新宿大京ビル 主催：地方議員研究会
	②	
	②	
目的を (どのような 課題を解決 するためか など)	生成AIにできることや使い方を学びブログや広報活動に役立てる。 生成AIを活用した行政資料の分析や要約の仕方を知る。 財政分析や事業分析の仕方をする事で議員活動を効率よいものにする。	
内 容	生成AIを活用した議員活動基礎 ・生成AIにできること ・議員活動における基本的な使い方 ・議会発言のための有効な使い方 ・ブログ広報での活用方法 ・生成AI時代の議員がすべき役割と動き方 議員質問の作り方 ・生成AIを活用した行政資料の分析・要約の仕方 ・財政分析での活用方法 ・事業分析での活用方法 ・生成AI時代に必要な財政実現力	

成 果 等 〔市に活かせること等〕	AI を使ってリサーチや分析に使い方や議会報告を広報するための効果的な使い方を学ぶことができた。画像を作ったり写真を加工することもできることがわかった。Chatgtp の他 Gemini や NotebookKL の使い方を学ぶことで分析の幅が広がった。
事 業 費	31,434円 研修費（振込手数料含む）、交通費

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること

令和7年度政務活動費調査研究報告書

提出日令和8年2月16日

事業名	第59回 議員の学校		
会派名	神奈川ネットワーク運動	報告者	布瀬 恵
参加者	布瀬 恵		
区分	☒ ①研修 ☐ ②視察 ☐ ③広聴 ☐ ④その他 ()		

概要

実施日時 訪問先、会場 主催者等	日 時	訪問先、会場、主催者等
	①1月30日(金) 午前13時00分～ 午前6時05分	会場：オープンイノベーションフィールド多摩国分寺 主催：NPO法人 多摩住民自治研究所
	②1月31日(土) 午前10時00分～ 午後4時00分	会場：オンライン 主催：NPO法人 多摩住民自治研究所
目的 (どのような課題を解決するためかなど)	財政危機を乗り越えていく為に 自治体財政の本質を知り、責任ある政策議論を行えるようにするために	
内 容	1. 集中講義①「自治体財政の基本と財政危機の正体」 2. 集中講義②「新年度の地方財政計画と自治体予算への影響」 3. 実践報告「財政に強い現役議員が語る～予算議会、私ならこう臨む」 ① (東村山市議会議員) ② (甲府市議会議員) 4. 集中講義③「予算審査をリードする視点・論点・攻めどころ」 5. 集中講義④「社会保障関係予算の動向と、どうなる私たちの暮らし」	
成果等 (市に活かせること等)	自治体財政とはどのように編成されているのか、当たり前ではあるが、自治体財政の唯一のルールは赤字にしないこと。自治体財政は家計と同じであると断言された。財政危機の本質をきちんと捉えて検討していく必要がある。他市の事例も交えながら、今後の見通しも踏まえながら財政のどの指標を見ながら検討していくことの重要性を学ぶことができた。 議員の方々からは、同じ立場でどのように自治体財政を見ていく必要があるのか、また一個人ではなく議会として予算審議、決算審議に臨んでいるのかを学ぶことができた。住民の福祉の増進を図ることを目的に、議決機関としてその権限を行使していく為に必要な体制とはどのようなものが必要なのかを事例を交えて考える機会となった。一議員としての審議だけでなく、議会としてどのように自治体財政を捉え審議していくのか、議会組織としての意思形成をしていく	

	為には議員間の討議が最も重要であるとも考える。大和市議会でどのような体制を取っていくべきなのかを考える機会となった。
事業費	26,284円 (研修費: 25000円 + 交通費: 1284円)

※訪問先が2カ所以上の場合は行程表を添付すること